



## 「業界ピックアップ②」

～直近1カ月の振り返りとP-FAN的考察～



## ★直近1カ月のパチンコ業界トピックス

- ・99%が5万円未満、貯玉補償のあり方協議へ
- ・東京都受動喫煙防止条例への署名、約18万筆に
- ・廃棄台から取り出した金をメダルにリサイクル
- ・唐津市内のパチンコで置引、容疑者逮捕
- ・**6号機、働き方改革について言及～回胴遊商**
- ・日遊協、自民党の受動喫煙対策ヒアリングに出席
- ・厚労省が生活保護受給者の実態調査結果を公表
- ・ニラクが自己申告・家族申告プログラムを導入
- ・『まごころ』待ち望むエヴァファンが上野に集結！
- ・RSN、年間相談件数が開設以来の最多件数に
- ・**全日遊連加盟店、2017年中に452店舗が廃業**
- ・パチンコ店経営者脅し「みかじめ料」組幹部逮捕
- ・30%の設置比率目標、11店舗が未達成と報告
- ・ダイナムが恒例の特別インターンシップを開催
- ・機構の立入検査店舗数、目標の約98.7%を達成
- ・第27代警察庁長官に栗生俊一氏が就任
- ・基板番号削りに注意喚起～同友会
- ・業界等価廃止へ、鳥取4月から27.5玉交換に
- ・NEXUSが昨年未に16店舗を一斉オープン
- ・家族申告プログラム、149店舗が導入
- ・日工組が新内規、のめり込み対策の強化を明記
- ・メダル約900枚の窃盗容疑で男逮捕～福岡県
- ・熱気に包まれた冬コミ！メーカー3社が出展
- ・【訃報】サンセイR&Dの梅村義孝前会長が逝去
- ・震災対応型銀行融資枠の期限を延長～ダイナム
- ・ニラク、茨城県に56店舗目をオープン
- ・アンダーツリーが府内1店舗を事業承継
- ・【訃報】豊丸産業創業者・永野裕豊相談役が逝去
- ・ガイアグループが新たな取組みを開始
- ・RSN、開設以来の最多相談件数を記録
- ・日電協、2月1日以降の証紙デザイン変更を通知
- ・京遊協が年末年始の景品持ち帰り推進運動
- ・ピーアークHD、17年4～9月売上高は473億円

特に気になる**記事**をピック  
アップしてより詳しく解説  
していくよ！



鈴木ゆい

### ・6号機、働き方改革について言及～回胴遊商

回胴遊商関東・甲信越支部（新井春行支部長）は1月22日、都内東京ドームホテルで新年研修会・懇親会を開催した。

冒頭、新井支部長は「私は毎年年頭で目標を掲げているが、今年、『感謝』という気持ちを掲げたい。支部に業務に携わっている組合員、サポートしてくださる役員の皆様に本当に感謝している。今年もよろしくお願ひしたい」と挨拶。

続いて登壇した回胴遊商の大饗裕記理事長はまず6号機について、「巷では色んな噂が流れているが現段階では案であると認識してほしい」と前置きしたうえで、「現段階でほぼ決まっている内容としては、6号機の型式試験の申請は4月1日からということ。市場投入はおそらく早くて盆明けに6号機第1弾、各メーカーから出揃うのは秋口から年末くらいになるのではないかと説明。

さらに、「日電協の懸命な努力、そしてパチスロを見殺しにしているのではないという業界人の結束した信念で、ある程度希望の持てる遊技機になるのではないかと述べ、6号機への期待感を示した。

また、大饗理事長は6団体連名の要望書を1月中旬に警察庁へ提出したい意向を示し、要望書の中身については「現在、営業時間外に集中している業務を出来るだけ日中に移行してもらいたいというもの」と述べた。最後に「今年もホール団体、メーカー団体にしっかり言うべきことは言いながら1年間頑張っていきたい」と決意を述べた。

記事の中でも注目は、やはり6号機への言及かしら。ホール関係者もずっと気になっていた部分だと思うし、来年以降の営業にも大きく影響するところだから早くはっきりとして欲しいわね。今日現在である程度方向性として噂になっているポイントは大きく4つ。※まだ確定した話ではありません。

- ・設定差なしの撤廃
- ・有利区間ランプ点灯時期の自由化
- ・純増2.0枚/Gの撤廃
- ・1500G/3000枚→2400枚への規制強化

その他、細かい仕様の変更はあるのだけれど、ここでは割愛するわね。特に上3つのポイントについては、5.9号機と比較してもゲーム性の幅が一気に広がる可能性があるのだから期待できそうよ。設定ごとに違いを付けた抽選を行えるし、有利区間も分かりづらくなる分、常に期待感を持ってそうね。さらに純増3.0枚のAT機なんかも復活するかもしれないわ！けど出玉試験や2400枚規制によって、一撃性の出玉にはそれほど期待できないから、過度な期待も禁物よ♪



鈴木あい

## ・全日遊連加盟店、2017年中に452店舗が廃業

全日遊連の加盟ホール数（営業店舗数）は、2017年12月末現在で9,681店舗となり、前月11月末と比べて12店舗減少した。営業店舗数の減少は8カ月連続。

2017年1月から12月の新規店舗数は累計123店舗、廃業店舗数は累計452店舗となった。

12月末の設置台数は、パチンコが250万5,068台（前月比829台増）、パチスロが155万5,137台（同9,798台増）、その他の遊技機が37台（同66台減）となり、総台数は406万242台（同1万561台増）となっている。

毎月、全日遊連から発表されている加盟店舗数じゃが、昨年12月末現在で、9681店舗となっているようじゃの。厳密に言えば、実際に営業している店舗数は全国で全日遊連加盟店+非加盟店1000店舗ほどなので、約10700店舗ほどかの？実際にはまだ10000店舗以上は日本に存在しているわけじゃが、果たして今年ほどのくらいの店舗が閉店・廃業してしまうのか？個人的にはあまり減って欲しくないものの、このまま遊技人口の減少やスペックダウンによる売上・利益の低下が止まらなければ閉店・廃業も加速してしまいそうじゃ。パチンコとパチスロどちらも厳しいと言われている時代だからこそ、自信をもって強みと言える武器が欲しいの。大手とは違ったステージでの勝負と機種構成が今後の稼働のカギとなるじゃろう。

## ★2018年もホールの閉店・廃業は止まらない？

早ければ今年中には6号機も登場するような話も出ているようじゃが、果たしてホールの減少を食い止めるほどの期待ができるもんじゃるか？わしはそうは思わんな。結局またメーカーだけが儲かってしまう仕組みのままなのであれば、新台に頼らずに営業を続けられる仕組みやスキームを生み出すために予算を使いたいの～



鈴木さん